

平成28年度 学校関係者評価報告書

学校名：名古屋外語・ホテル・ブライダル専門学校

1 学校目標

- ・本学園の建学の精神である、社会から喜ばれる知識と技術を持ち、歓迎される人柄を兼ね備えた人材を育成し、科学技術・文化の発展に貢献する。
- ・知識・技術といった学生個々の能力を引き上げると共に、品格とホスピタリティ精神を兼ね備えた魅力ある人材を育成する。
- ・「夢をかたちに」を実現する。

学校目標に対する評価・意見

- ・全体的には概ね目標達成出来ているが、退学率の低減と災害時の整備がまだ不足しているのではないか。
- ・どの学科も英語教育が不可欠ではないか。英検・TOEICの取得に力を入れていただきたい。
- ・ホスピタリティ教育の実践を行っている点を高く評価。今後も「人柄」に対する教育・知識・技術・態度を養い、第一線で活躍できる人材の育成に努力してほしい。

2 学校自己評価報告書について

学校自己評価報告書基準	学校自己評価報告書についての評価点の平均（4段階で評価）		
	自己評価の結果が適切か	改善に向けた取組みが適切か	今後の改善方策が適切か
基準1（教育理念・目標）	4	4	4
基準2（学校運営）	4	4	3.5
基準3（教育活動）	4	3.5	3.5
基準4（学修成果）	4	3.5	3.5
基準5（学生支援）	3.5	3.5	3
基準6（教育環境）	4	3.5	3.5
基準7（学生の受入れ募集）	3.5	4	4
基準8（財務）	4	4	4
基準9（法令等の遵守）	3.5	4	4
基準10（社会貢献・地域貢献）	4	3.5	4
基準11（国際交流）	4	4	4

3 今後の改善意見

- ・生徒一人一人を全力でサポート出来るようなシステムを作り、バックアップしてほしい。退学率低減の為に本人・学校・保護者との連携が必要では？
- ・避難訓練や自衛消防組織の編成、災害発生時の整備を早急をお願いしたい。
- ・英語教育に関して、英語教育の専門家を招致したり、放課後・土曜日などに補習を行うようにしてはどうか？

4 今後の具体的な改善方策

- ・学生たちの専門能力向上のためには、まず教員の専門能力の向上が不可欠である。そのためには、教員の企業研修等を積極的に実施してゆきたい。
- ・教員の教育力向上のため、授業方法等についての学内研修を実施したい。
- ・教員による企業訪問等を積極的に実施したい。